

秋田活性化プロジェクト

～秋田に飽きたなんていわせない～

応募区分：高 校
 ID番号：S L 8 0 1 6 1 3
 チーム名：A N M A S
 学 校 名：秋田市立秋田商業高等学校
 学 年：3 年
 メンバー：伊 藤 綾 香（リーダー）
 池 田 麻 美
 石 塚 夏 紀
 加 藤 紗耶香
 佐々木 美 佳
 担当教諭：上杉 清博先生(情報処理担当)

【投資銘柄一覧表】

業界名	銘柄コード	銘柄名	市場名	投資金額
商業	3385	薬王堂	ジャスダック	243,600
サービス	2142	ユー・エス・ジェイ	東証マザーズ	866,800
サービス	4661	オリエンタルランド	東証1部	235,900
サービス	4680	ラウンドワン	東証1部	294,800
サービス	8233	高島屋	東証1部	109,600
サービス	8252	丸井グループ	東証1部	108,960
サービス	9671	よみうりランド	東証1部	112,784
サービス	9681	東京ドーム	東証1部	111,600
サービス	9708	帝国ホテル	東証2部	115,280
建設	1801	大成建設	東証1部	204,672
建設	1803	清水建設	東証1部	233,264
建設	1812	鹿島建設	東証1部	177,996
建設	1824	前田建設工業	東証1部	180,810
建設	1860	戸田建設	東証1部	244,083
不動産	8905	イオンモール	東証1部	111,340
陸運	9008	京王電鉄	東証1部	111,360
陸運	9020	東日本旅客鉄道	東証1部	918,000
陸運	9045	京阪電気鉄道	東証1部	114,540
空運	9205	日本航空	東証1部	116,600
輸送用機器	7003	三井造船	東証1部	110,376
投資金額合計				4,722,365

I. テーマ設定の理由

担当：伊藤

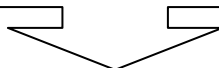
(※1)

平成18年1月1日現在の秋田県の人口は、1,143,740人であり、秋田の年間人口の推移は下記の通りです。

平成18年1月1日年間累計では、

自然動態	出生者	7,743人	社会動態	県内への転入者	16,783人
	死亡者	13,077人		県外への転出者	21,432人
		5,334人の減少			4,649人の減少

自然動態、社会動態合わせると、9,983人の人口が減少している。



上記のことから秋田では、かなりの人口が減少傾向にあることがわかります。県外への転出者の多くは、秋田には就職先があまりなく、やむを得ず県外就職を余儀なくされた若者ではないか、また、遊ぶ場がないというのもその理由の一つではないかと考えました。

【秋田県の人口の推移と見通し】(※2)

計	平成12年 (2002)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)
全国	126,926	127,709	127,474	126,265	125,107	121,136	117,579
割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
秋田県	1,189	1,161	1,124	1,080	1,028	972	914
割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
65歳～ (高齢人口)	平成12年 (2002)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)
全国	22,041	25,392	28,735	32,772	34,559	34,726	34,770
割合(%)	17.4	19.9	22.5	26.0	27.8	28.7	29.6
秋田県	280	305	315	337	348	344	331
割合(%)	23.5	26.3	28.0	31.2	33.8	35.4	36.2

一方、上記の表より秋田の4人に1人が65歳以上の高齢者であることがわかります。現在の秋田は年々高齢化が進展していて、さらに、2010年には秋田が全国一の高齢県になると見込まれているそうです。

このまま高齢者が増加する一方、その高齢者を支えていくべき若者たちがどんどん県外へ転出してしまえば、秋田がどんどん衰退していつてしまうのではないかと考えています。

そこで、秋田の活性化に向け「既存の企業の応援」「新たな企業の誘致」「大型娯楽施設の建設」の活動を行おうと考えました。しかし、今のままの交通網ではこれらの活動による人口増加に対応することができません。そのため「交通機関の拡大」も同時に行おうと考えました。

これら4点の活動を行うことで、県外への転出者が減り、秋田に訪れる人が確実に増加するはずで。そして、現在の秋田は活性化され、さらには秋田の名を全国へ広めていけるのではないかと考え、このテーマを設定しました。

Ⅱ. 秋田活性化の具体例

担当：池田・加藤

（１）県内就職場所の確保

既存の企業を応援。また、秋田にはない新たな優良企業を誘致します。
これらを行うことによって、県内の就職の場を確保しようと考えます。

（２）大型娯楽施設の建設

全天候型ドームの中に娯楽施設を設置。それにより降雪がある秋田の冬はもちろん、梅雨などの季節に左右されずに遊ぶことができます。

（３）交通網の拡大

県外からの観光客に対応する空運・陸運機関並びに海運機関の充実を目指します。
また、人口増加を想定した県内の交通網拡大も行っていきます。

人口が増えれば自然と活性化につながると考えました。そのため、上記の３点に重点を置き、
県外への転出者減少・県内への観光客増加を目標とし、秋田を活性化させていきたいです。

Ⅲ. 秋田の未来像

担当：池田・加藤

（１）県外からの観光客が増える

大型娯楽施設を建設することで県外からの観光客が増加。また、観光客の増加のみならず本県で娯楽施設の運営を行うことにより秋田の経済状況もよくなると考えます。

（２）転出者が減る

企業の応援・誘致を行い、県内就職場所を確保することにより県外への就職を余儀なくされていた人が減少し、転出率の低下につながります。

具体例であげたことを行うことにより県外への転出者が減るほか、
秋田への観光客が増え、本県の人口増加につながります。
また、人口増加に伴い県内の様々な箇所が活発となり、
秋田の活性化へと発展していくと考えます。

IV. 選出銘柄の紹介・選出理由

担当：石塚

【商業業界】県内に既存している企業を応援し、就職の場を設けることで県外への転出者を減らす。

◆薬王堂◆（JADAQ）

銘柄コード	3385
社名	株式会社薬王堂
設立	1991年6月
資本金	約7億円
代表者	西郷 辰弘
事業内容	ドラッグストアチェーンの経営ならびに調剤薬局経営
選出理由	都市部の大きな会社だけでなく、同じ東北から起業した会社に秋田だけでなく東北を活性化してほしいという思いで選んだ。また東北ドラッグストア初薬王堂全店舗に「iD TM 」「E d y」の共用決済端末を導入した。その姿勢がとてもいいと思い投資した。

【サービス業界】有名娯楽施設の運営を行っている企業へ大型娯楽施設運営を委託する。

また、小売事業を行っている県内にはない企業を誘致し、県内就職の場を設け、転出者を減らす。

◆ユー・エス・ジェイ◆（東証1部）

銘柄コード	2142
社名	株式会社ユー・エス・ジェイ
設立	1994年12月
資本金	約309億円
代表者	グレン ガンベル
事業内容	米ユニバーサル・スタジオと連携。ユニバーサルスタジオジャパンの運営
選出理由	秋田県には広大な土地がいっぱいあるのに大型テーマパークがない！ということで大型テーマパークを運営できる会社に投資した。

◆オリエンタルランド◆（東証1部）

銘柄コード	4661
社名	株式会社オリエンタルランド
設立	1960年7月
資本金	約632億円
代表者	福島 祥郎
事業内容	テーマパークの経営・運営、不動産賃貸等
選出理由	秋田から若者が転出する理由の一つに遊ぶところがないということがあげられている。そこで秋田にもテーマパークを造ればその理由での転出の人はへるのではないかと考えた。また観光に来る人も増え過疎がすすんでいる秋田を活性化させることができるのではないかと。

◆ラウンドワン◆（東証１部）

銘柄コード ４６８０
社名 株式会社ラウンドワン
設立 １９８０年１２月
資本金 約１５３億円
代表者 松野 公彦
事業内容 ボウリング・アミューズメントを中心とした屋内型の複合型施設の展開・運営
選出理由 遊ぶところがないといわれている秋田にも最近できた施設。だが秋田市内にしか展開されていない。秋田市以外にもほかの市に展開して秋田の中心部だけ発展させるのではなく、全体が活性化できるようにしてほしいという思いで投資した。

◆高島屋◆（東証１部）

銘柄コード ８２３３
社名 株式会社高島屋
設立 １９１９年８月
資本金 約５６０億円
代表者 鈴木弘治
事業内容 百貨店事業、法人事業、通信販売事業、グループ事業
選出理由 秋田で買い物をするところといったら駅周辺か郊外の大規模施設しかない。もう一社加われば価格競争とかその会社での雇用があがり秋田の活性化につながるのではないかな。

◆丸井グループ◆（東証１部）

銘柄コード ８２５２
社名 株式会社丸井グループ
設立 １９３７年３月
資本金 約３６０億円
代表者 青井 浩
事業内容 小売り事業、カード事業、小売サービス事業を行うグループ会社の経営計画・管理等
選出理由 高島屋同様、秋田の雇用・転出状況を考え投資した。丸井は若者だけの店というわけではなく、高齢者向けの商品などの品揃えが充実している。そのため、高齢者が増加傾向にある秋田にあっていて考えたから。

◆よみうりランド◆（東証１部）

銘柄コード ９６７１
社名 株式会社丸井グループ
設立 １９５９年９月
資本金 約６０億円
代表者 関根 達雄
事業内容 総合レジャー事業 【遊園地部門】遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設等の経営
選出理由 たくさんの土地がある秋田だからこそ、何軒かのレジャー施設が増えれば秋田の雇用、観光での活性化がおきるのではないかな。

◆東京ドーム◆（東証１部）

銘柄コード ９６８１
社名 株式会社東京ドーム
設立 １９３６年１２月
資本金 約２０億円
代表者 林 有厚
事業内容 東京ドーム事業、ホテルグループ事業、競輪場事業
選出理由 東京ドームはドームの運営のみならず、ホテルや飲食店・アミューズメントパークの運営も行っており、秋田にきて雇用や遊ぶ場所として発展してほしいと考え投資した。

◆帝国ホテル◆（東証２部）

銘柄コード ９７０８
社名 株式会社 帝国ホテル
設立 １８８７年１２月
資本金 約１４億円
代表者 小林 哲也
事業内容 ホテル運営
選出理由 秋田には東北三大祭りの「竿燈」がある。竿燈の季節になると竿燈大通りは一年で一番混み合う。また竿燈通りに面するホテルは予約が入り、部屋が取れないほどである。なので新しい企業が参入することで地元の活性化にも繋がると考え投資した。

【輸送用機器業界】陸運・空運のみならず、フェリーを利用した県外からの観光輸送を目指す。
そのためのフェリー造りを委託。

◆三井造船◆（東証１部）

銘柄コード ７００３
社名 三井造船株式会社
設立 １９３７年７月
資本金 約４４３億円
代表者 加藤 泰彦
事業内容 船舶・海洋環境リサイクル、社会インフラ建設、先進機器システム、ＩＴ・サービス関連、プラントエンジニアリング、物流システム、動力エネルギー
選出理由 秋田に大型テーマパークや買い物施設が充実すれば秋田を訪れる人が増えるはず。もし、そうならば鉄道や飛行機だけでなく日本海を見ながら秋田にきてほしいと思い投資した。

担当：佐々木・加藤

【建設業界】ドーム、道路等の建設を行っている企業を中心に、ドームを始めとする大型娯楽施設の建設及び人口増加に伴う交通網拡大のための道路建設を委託。

◆大成建設◆（東証１部）

銘柄コード １８０１
社名 大成建設株式会社
設立 １９１７年１２月
資本金 約１，１２５億円
代表者 山内 隆司
事業内容 建築工事、土木工事、その他建設工事全般に関する企画
選出理由 札幌ドーム、さいたまスーパーアリーナなど有名施設を建設しているから。

◆清水建設◆（東証１部）

銘柄コード １８０３
社名 清水建設株式会社
設立 １９３７年８月
資本金 約７４４億円
代表者 野村 哲也
事業内容 建築・土木等建設工事の請負
選出理由 東京ドームホテル、帝国ホテル建設など、有名施設を建設しているから。

◆鹿島建設◆（東証１部）

銘柄コード １８１２
社名 鹿島建設株式会社
設立 １９３０年３月
資本金 約８１４億円
代表者 中村 満義
事業内容 建設事業、開発事業、設計・エンジニアリング事業ほか
選出理由 ドーム建設、空港等の交通施設の建設を行っているので、ドーム型娯楽施設の建設、交通網拡大のための交通施設建設委託のために選出した。

◆前田建設工業◆（東証１部）

銘柄コード １８２４
社名 前田建設工業株式会社
設立 １９４６年１１月
資本金 約２３５億円
代表者 前田 靖治
事業内容 土木建築工事その他建設工事全般の請負、企画、設計、施工、監理及びコンサルティング
選出理由 鉄道を始め、高速道路や空港まで交通に関する施設の建設を行っているので、主にその点を重視し選出した。

◆戸田建設◆（東証１部）

銘柄コード	１８６０
社名	戸田建設株式会社
設立	１９３６年７月
資本金	約２３０億円
代表者	井上舜三
事業内容	土木・建築等に関する調査、企画、設計、監理、施行、その総合的エンジニアリング及びコンサルティング業務
選出理由	アリーナ施設、また駅やトンネル、空港といった交通施設の建設も手がけている。さらに地下駐車場の建設も行っているので選出した。

【不動産業界】すでに県内に既存している企業を応援し、就職の場を設けることで県外への転出者を減らす

◆イオンモール◆（東証１部）

銘柄コード	８９０５
社名	イオンモール株式会社
設立	１９１１年１１月
資本金	約１６７億円
代表者	村上 教行
事業内容	大規模地域開発及びショッピングセンター開発と運営、不動産売買・賃貸・仲介、保険代理業(損害保険・生命保険)
選出理由	県内にあるイオンモールを応援するし、県内就職の場を盛り上げようと選出した。

【陸運業界】転出者減少、観光客増加に伴う人口増加に対応できる県内の交通網拡大。また観光客増加に比例する県外から県内への観光輸送の充実を目指す。

◆京王電鉄◆（東証１部）

銘柄コード	９００８
社名	京王電鉄株式会社
設立	１９４８年６月
資本金	約５９０億円
代表者	加藤 隼
事業内容	鉄道事業、土地・建物の賃貸業・販売業など
選出理由	京王電鉄は鉄道事業（地下鉄）などを行っており、秋田には地下鉄がないので交通網の拡大への協力をしてもらう。

◆東日本旅客鉄道◆（東証１部）

銘柄コード ９０２０
社名 東日本旅客鉄道株式会社
設立 １９８７年４月
資本金 約２，０００億円
代表者 清野 智
事業内容 旅客鉄道事業、貨物鉄道事業、旅客自動車運送事業、旅行業、設備工事業
輸送用機械器具製造業、精密機械器具及び一般産業用機械器具製造業、看板・標識案内板等の製造・販売業、遊園地、体育施設、文化施設
選出理由 秋田には電車が一時間に一本しか通っていないので、交通網の発達を目指し選出。

◆京阪電気鉄道◆（東証１部）

銘柄コード ９０４５
社名 京阪電気鉄道株式会社
設立 １９４９年１２月
資本金 約５１５億円
代表者 上田 成之助
事業内容 鉄道事業、不動産事業、レジャー事業
選出理由 交通網拡大の協力を求めるため。また、レジャー事業も行っているという点にも着目し、選出した。

【空運業界】観光客増加に対応できる県外から県内への観光輸送のさらなる充実を目指す。

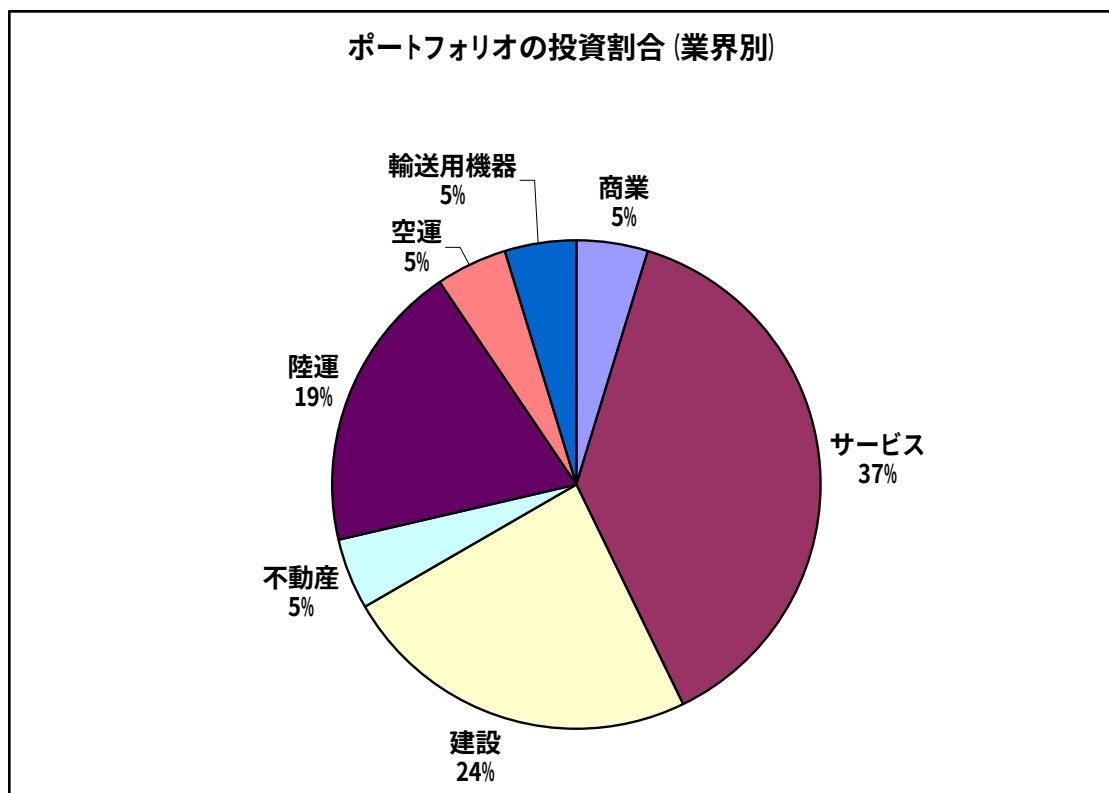
◆日本航空◆（東証１部）

銘柄コード ９２０５
社名 株式会社 日本航空
設立 ２００２年１０月
資本金 約１，７４２億円
代表者 西松 遙
事業内容 航空輸送事業およびこれに関連する事業等を営む会社の持ち株会社として、これらの事業会社の経営管理ならびにこれに附帯または関連する業務
選出理由 航空の便を広げることで、県外から多くの人に秋田を訪れてもらいたい。

上記の各業界説明担当：池田・加藤

V. ポートフォリオの投資割合（業界別）

担当：石塚



秋田からの転出者が挙げる理由の一つである遊ぶ場所がないということを参考にし、テーマパーク・ショッピングを楽しむところという二点を考慮して投資したので、**サービス業界**が一番多くなりました。

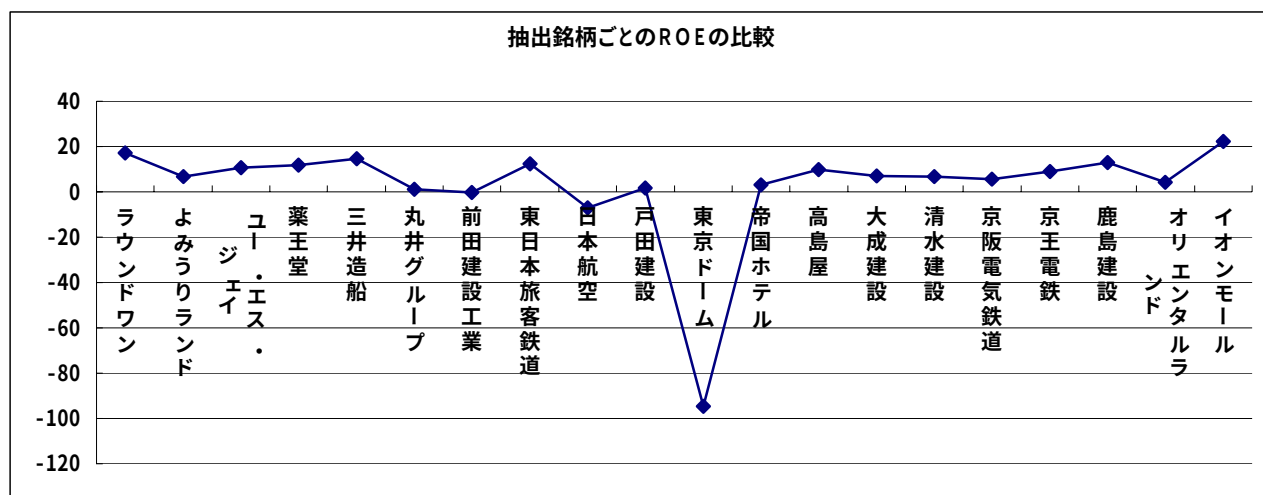
次いで**建設業界**に重点を置いて投資しました。テーマパーク会社やドーム会社などは、運営事業だけを行う会社です。ということはその建物を建設できる会社がなければ建設はできません。そのため、サービス業界と連想させてこの業界に重点を置きました。

また、秋田にないものを求めて転出する人が増える中で秋田のよさも再発見することにも必要ではないかと考えました。秋田には東北三大祭りの『竿燈』があります。この祭りをもっと知ってもらいたいと思っています。そのため、**陸運業界**にも投資し、交通の便を良くしていきたいと考えました。

VI. 各選出銘柄のROEの比較

担当：佐々木

銘柄名	自己資本利益率 (ROE)
ラウンドワン	17.22
よみうりランド	6.71
ユー・エス・ジェイ	10.58
薬王堂	11.71
三井造船	14.78
丸井グループ	1.02
前田建設工業	-0.34
東日本旅客鉄道	12.36
日本航空	-7.09
戸田建設	1.59
東京ドーム	-94.71
帝国ホテル	3.17
高島屋	9.91
大成建設	7.14
清水建設	6.88
京阪電気鉄道	5.75
京王電鉄	8.9
鹿島建設	12.96
オリエンタルランド	4.29
イオンモール	22.39

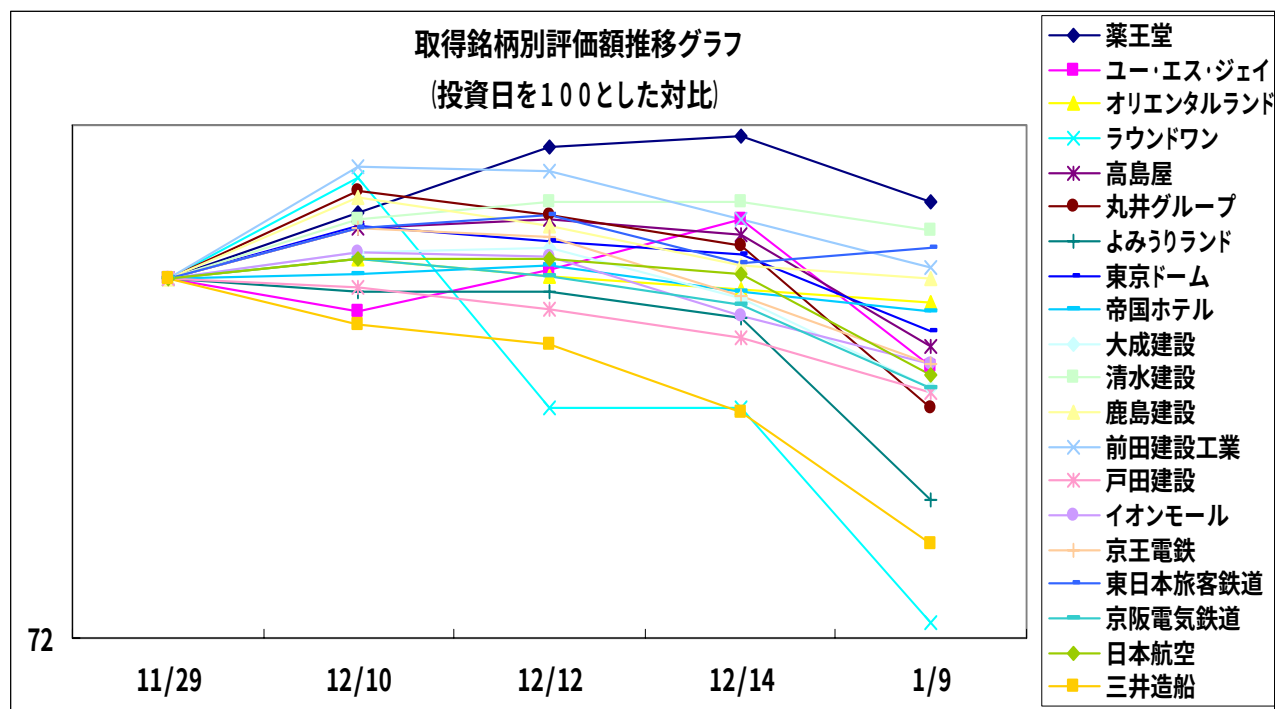


ROEを比較すると、イオンモールが一番高い数値だということが分かる。

VIII. 各銘柄の評価額の動き

担当：伊藤

選出銘柄	取得金額		12月10日(月)		12月12日(水)		12月14日(金)		1月9日(水)	
			評価額	前回比	評価額	前回比	評価額	前回比	評価額	前回比
薬王堂	243,600	100	256,200	105	268,800	110	270,900	111	258,300	106
ユー・エス・ジェイ	866,800	100	844,800	97	872,300	101	906,400	105	808,500	93
オリエンタルランド	235,900	100	239,750	102	236,250	100	234,150	99	231,350	98
ラウンドワン	294,800	100	317,900	108	265,100	90	265,100	90	215,600	73
高島屋	109,600	100	114,000	104	114,640	105	113,440	104	103,920	95
丸井グループ	108,960	100	116,448	107	114,432	105	111,840	103	97,920	90
よみうりランド	112,784	100	111,720	99	111,720	99	109,326	97	93,366	83
東京ドーム	111,600	100	116,250	104	114,948	103	113,646	102	107,136	96
帝国ホテル	115,280	100	115,720	100	116,600	101	114,180	99	112,420	98
大成建設	204,672	100	209,040	102	209,664	102	201,552	98	187,200	91
清水建設	233,264	100	244,000	105	247,416	106	247,416	106	242,048	104
鹿島建設	177,996	100	189,243	106	185,331	104	179,952	101	177,996	100
前田建設工業	180,810	100	196,490	109	196,000	108	189,140	105	182,280	101
戸田建設	244,083	100	242,431	99	238,301	98	232,932	95	222,607	91
イオンモール	111,340	100	113,620	102	113,240	102	108,110	97	103,930	93
京王電鉄	111,360	100	115,840	104	115,040	103	109,920	99	104,000	93
東日本旅客鉄道	918,000	100	955,000	104	964,000	105	930,000	101	940,000	102
京阪電気鉄道	114,540	100	116,283	102	114,789	100	112,299	98	104,829	92
日本航空	116,600	100	118,360	102	118,360	102	117,040	100	107,800	92
三井造船	110,376	100	106,434	96	104,682	95	98,988	90	87,600	79



これらのことから気づいたことは、薬王堂は、銘柄紹介にもあるように、東北ドラッグストア初薬王堂全店舗に「i D™」「E d y」の共用決済端末を導入したため、躍進的な評価額上昇をしています。また、ラウンドワンは、既存店売上高の不振嫌気により、急激に評価額が下落しました。他の銘柄は、大きな変動はないものの、取得金額より増加している銘柄と減少している銘柄は半数ずつくらいの割合でした。

IX. ポートフォリオの考察とまとめ

今回テーマに基づき、私たちが生まれ育った秋田について調査していく中で、秋田についてまだまだ知らないことがたくさんあるのだということを痛感させられました。さらに秋田の現状もだんだんと見えてきました。中でも若者の転出者が増加傾向にあり、高齢化がどんどん進行しているということがわかりました。そこで、このような現象を食い止めることができるような企業を集め、ポートフォリオを組み立てました。

ポートフォリオを組み立て、各銘柄に投資直後、政治動向の影響により、建設業の株価が低迷してしまいました。現在は20銘柄中4銘柄しか取得金額を上回っていませんが、順位は1871人中383位と以前に比べると上がってきました。運用益はなかなか思うようには上がっていませんが、私たちは長期保有の視点で投資をしたので、現段階ではあまり気にしていません。

私たちが考えている秋田の活性化に必要な「県内就職場所の確保」「大型娯楽施設の建設」「交通網の拡大」についても、バランスよく企業を選出できたのではないかと考えます。そして、これらの企業を盛り上げ、応援していかなければ秋田の活性化を円滑に進めていくことはできないと考えます。そのためには、秋田に住んでいる私たちが協力することが必要不可欠であり、さらなる発展にも繋がっていくのではないのでしょうか。

私たちが考えている秋田の未来像を現実のものとするために、若者である私たちが先頭に立って今の秋田を発展させていきたいと考えています。今後も、選出した企業の動きを調べて、その企業のために私たちにでも何かできることはないかを考えていきたいです。

X. ストックリーグから学んだこと

このストックリーグを通して、株に対する考え方が変わりとても勉強になりました。今まで株についてあまり考えたことはありませんでしたが、好きな企業だから、好きな商品があるからという考えだけで投資をすることはできないということが分かり、株一つとっても、たくさんの知識が必要なのだと実感しました。また、類似の企業に投資するのではなく、バランスよく投資することが大切だということを改めて考えさせられました。

さらに、株に関することはもちろん秋田の現状についても知ることができました。現在の秋田の人口は減少傾向にあること、またその中で高齢者の占める割合が増えてきていることなどを知りました。この現状を知り、もっと活気のある秋田にしたいと強く感じました。実際に、私たちが提案したことを選出した企業と協力して進めていくことは無理に等しいかもしれません。しかし、少しでも秋田が活性化されるためには、まず自分たちが秋田のことをよく理解することが必要です。そして理解をした上で、たくさんの人々に秋田の良さを伝えられたら、知ってもらえたらと思います。

ストックリーグに参加したことで、株に関する様々な知識や、私たちの住む秋田の良さを学ぶことができ、本当に良かったと感じます。また、このような株に携わるような機会がありましたら、今回学んだことを生かし積極的に参加していきたいと思います。

◇参考サイト

テーマ設定の理由より

(※１) 秋田県統計情報ホームページ <http://www.pref.akita.jp/tokei/t.htm>

(※２) ６５歳雇用導入プロジェクト事業 <http://www.shirakami.or.jp/~n-syoko/koyo65/sub3.html>

薬王堂ＨＰ <http://ns.yakuodo.co.jp/aboutus/index.html>

ユー・エス・ジェイＨＰ <http://www.usj.co.jp/company/about/index.html>

オリエンタルランドＨＰ <http://www.olc.co.jp/company/profile/index.html>

ラウンドワンＨＰ <http://www.round1.co.jp/company/flame.html>

高島屋ＨＰ <http://www.takashimaya.co.jp/corp/info/outline/index.html>

丸井グループＨＰ <http://www.0101maruigroup.co.jp/ci/outline.html>

よみうりランドＨＰ <http://www.yomiuriland.co.jp/company/about.html>

東京ドームＨＰ <http://www.tokyo-dome.jp/>

帝国ホテルＨＰ http://www.imperialhotel.co.jp/index_j.html

三井造船ＨＰ <http://www.mes.co.jp/company/index.html>

大成建設ＨＰ <http://www.taisei.co.jp/>

清水建設ＨＰ <http://www.shimz.co.jp/>

鹿島建設ＨＰ <http://www.kajima.co.jp/>

前田建設工業ＨＰ <http://www.maeda.co.jp/>

戸田建設ＨＰ <http://www.toda.co.jp/>

イオンモールＨＰ <http://www.aeonmall.com/>

京王電鉄ＨＰ <http://www.keio.co.jp/>

東日本旅客鉄道ＨＰ <http://www.jreast.co.jp/>

京阪電気鉄道ＨＰ <http://www.keihan.co.jp/>

日本航空ＨＰ <http://www.jal.co.jp/>